



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.14

～平成 27 年 6 月に出前講座・現場見学会を実施しました～



◆出前講座・現場見学会

今年も、平成 23 年度から実施している出前講座と現場見学会について、近隣の 2 校の小学生を対象に行いましたのでご報告します。

平成 27 年 6 月 4 日(木)に市立東淡路小学校の 3 年生児童(42 名)と、6 月 12 日(金)には市立西淡路小学校の 3 年生児童(53 名)を対象に、次の内容にて出前講座・現場見学会を行いました。

○出前講座・現場見学会の目的

- ・「まちづくり」に対する関心を促し、事業の目的・効果などについての理解促進
- ・事業に対する親近感の醸成
- ・工事用車両への注意喚起や踏切の安全なわたり方など安全啓発

○出前講座・現場見学会の実施内容

出前講座・現場見学会は、2 時限目～4 時限目を使って実施しました。

2 時限目は出前講座を小学校の教室をお借りして、大阪市と阪急電鉄株の担当者が「淡路駅周辺で進められているまちづくり」や「高架工事の概要」などについて説明し、「踏切の安全なわたり方」などの安全啓発を行いました。

現場見学会(3～4 時限目)は、淡路駅前の工事現場へ行き、ヘルメットをかぶって阪急千里線に出来上がっている高架構造物(地上約 25m、7 階相当)の上へ登ってもらいました。児童達は、工事に関するクイズに答えたり、高架構造物の上から自分たちが暮らす街の様子を見て、高架構造物の大きさに驚きながらも、笑顔があふれていました。

実際の工事現場を見学し、工事担当者から直接説明を聞いて、事業を身近に感じてもらったのではないかと思います。

出前講座の様子



東淡路小学校



西淡路小学校

現場見学会の様子





発行 平成 27 年 7 月

発行者:大阪市建設局

淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.14

～土木学会関西支部主催の小中高生対象見学会を行いました～



◆土木学会関西支部主催の小中高生対象見学会

平成 27 年 5 月 16 日に、公益社団法人土木学会関西支部主催の小中高生対象見学会が開催されましたのでご報告します。

土木学会は、土木工学(自然災害から人々の暮らしを守り、社会・経済活動を支える基盤を整備する技術体系)の発展・技術者の資質向上を図り、学術文化の進展と社会発展に寄与することを目的に活動しています。

土木学会関西支部では、次世代を担う小中高生に対して土木技術や社会基盤の整備に関する正しい知識の習得と理解を得るため、各種の見学会を開催しています。平成 27 年度小中高生対象見学会として、小中高生とその保護者 84 名の方々が参加されました。

○事業説明

見学会は、現場事務所において工事の目的や内容、鉄道を高架にする3つの工法(仮線、別線、直上)等について説明後、鉄道を高架にする順序などを土木学会のスタッフがプラレールを使ってわかりやすく説明されていました。工事前から工事完了までの一連の流れをプラレールで実演し、列車が無事高架上を走行した際には大きな拍手が起こりました。

※ 工法については「事業だより Vol.02(H24.01)」を参照してください。

○工事現場見学

現場見学は、淡路駅付近の高架構造物、崇禅寺駅付近の直上施工機及び柴島駅付近の仮線の3つの現場を見学されました。

※詳細は、土木学会関西支部ホームページを参照してください。

<http://www.civilnet.or.jp/secretaries/citizen/2015/shochu/>

一般的に連立事業は、事業規模が大きく、その中でも本事業は他に類を見ない規模であり、線路を高架化することにより、17箇所踏切を除却することができます。踏切による交通事故や交通渋滞等の課題を抜本的に解決することができる事業として、今後も多方面への情報発信に努めていきたいと考えています。

事業説明の様子



工事現場見学の様子

